

令和4年11月14日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証グロース市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03 - 6225 - 2161)

営業外収益の増加及び営業外費用の減少に関するお知らせ

当社は、令和4年9月期（令和3年10月1日～令和4年9月30日）において、下記のとおり営業外収益（為替差益）が増加し、また営業外費用（持分法による投資損失）が減少することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の増加及びその内容

第3四半期連結累計期間（令和3年10月1日～令和4年6月30日）において、為替差益112百万円を計上しておりました。（令和4年8月15日付適時開示「営業外収益の発生及び営業外費用の発生に関するお知らせ」をご参照ください。）第4四半期連結会計期間では、さらに為替相場が円安に振れた影響により、当社グループが保有する外貨建債権債務の簿価と、期末為替レートによる評価額との差により、為替差益が29百万円増加し142百万円計上することとなりました。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の減少及びその内容

第3四半期連結累計期間（令和3年10月1日～令和4年6月30日）において、主にマイクロファイナンスやオートバイファイナンスを行っている Digital Finance 事業の業績並びにリゾート事業を営んでいる P.P. Coral Resort Co., Ltd. の業績を取り込んだ結果、245百万円の持分法による投資損失を計上しておりました。（令和4年8月15日付適時開示「営業外収益の発生及び営業外費用の発生に関するお知らせ」をご参照ください。）第4四半期連結会計期間では、Digital Finance 事業においては特にカンボジアで営業貸付金が増加したことにより収益状況が回復していることと、タイの経済状況がコロナ禍からの回復傾向にあることから担保金融の収益状況が良化したこと、またリゾート事業においても入国規制緩和に伴い旅行者が急増したことから利益水準がほぼフラットまで回復したことから、持分法による投資損失が187百万円減少し58百万円を計上することとなりました。

3. 今後の見通し

上記につきましては、令和4年11月14日付「令和4年9月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以 上